

みんなの人権

みなさんも一緒に考えませんか

【問い合わせ先】

役場人権推進室（総務課内）

☎963-1730（直）

誰にでもありうる無意識の思い込み“アンコンシャス・バイアス”

アンコンシャス・バイアスって何？

アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の思い込み」などと表現され、誰にでもありうるものです。これまでの経験や見聞きしてきたことなどから生み出されるため、完全に払拭するのは難しいかもしれません。しかし、気づかないまましていると自分や周りの人の可能性を狭めてしまったり、誰かを傷つけてしまったりする場合があります。

アンコンシャス・バイアスをチェックしてみよう

「固定的な性別役割分担意識」を例に、あなたの思い込みを日常のシーンごとにチェックしてみましょう。YESと思う項目に、少しでも立ち止まって考えてみてください。

- ・共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ。
- ・組織のリーダーは男性の方が向いている
- ・受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ
- ・女性は感情的になりやすい



今すぐできる！アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント

1. 「べき」「普通は…」に注意！

「男性なら残業するべき」「普通は女性なら結婚するものだ」本当にそう言い切れますか？「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は…」といった決めつけの言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

2. 相手の「サイン」を見逃さない

家族や友人、同僚と話しているときに、急に相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか？そんなときは、自分のアンコンシャス・バイアスからでた言動で相手を傷つけたのではないかと振り返ってみてください。

3. 常に自分に問いかける

先にも説明したとおり、アンコンシャス・バイアスを完全に払拭するのは難しいです。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモしていけば、自分の考え方や物の見方の傾向がつかめるかもしれません。

出典：政府広報オンライン「アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント！誰もが活躍できる社会に」
<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/unconsciousbias/>

心配ごと・福祉なんでも相談



みなさんの身のまわりに起こっている苦情や心配ごとなど、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

日時 10月13日（火）午前10時～午後3時

※1人当たり30分

場所 町福祉センター

相談員 人権擁護委員、行政相談委員
社会福祉協議会職員

内容 生活・家庭不和・結婚・近隣の問題、行政に対する苦情、高齢者や家族の悩み、福祉サービスの利用や金銭管理の不安、生きがい活動などの相談

※予約は不要です。会場に午後2時30分までにお越しください。

問い合わせ先 町社会福祉協議会

☎963-0921（直）